

みんなで発展させよう 測量系CPD

司 会/村井 俊治
パネラー/清水 英範
小澤 一雅
猪熊 明
堀野 正勝
田二谷 正純

測量系CPDの経緯と現状

事務局：社団法人日本測量協会



東京大学名誉教授
測量系CPD協議会副会長

司 会 村井 俊治

1. 設立趣意

測量技術者の使命や責務を達成するためには、時代に即した能力の維持及び向上を図り、常に自己研鑽に努めることが要求されます。学校教育で得られた学歴や、資格試験を経て取得した資格は、日常的に自己研鑽を継続することで、プロとしての応用能力が高められます。このような考え方から、継続教育（CPD；Continuing Professional Developmentの略称）が国内外で義務付けられるようになりました。測量関連の学協会が集まって、測量系CPD協議会を設立し、空間情報を担う測量技術専門家の能力の維持及び向上に邁進することに合意しました。

2. 測量系CPD協議会の発足

平成16年（2004）8月4日、測量系CPD協議会設立発起会が開催され、当初12団体、現在13団体が、設立趣意に合意して、下記の構成で測量系CPD協議会が発足しました（雑誌『測量』、2004年12月号参照）。

構成団体：

協会関係（8団体）：社団法人日本測量協会、財団法人日本測量調査技術協会、財団法人日本地図センター、財団法人測量専門教育センター、社団法人日本地図調製業協会、日本土地家屋調査士連合会、財団法人日本建設情報総合センター、社団法人全国測量設計業協会連合会

学会関係（5団体）：日本測地学会、社団法人日本写真測量学会、地理情報システム学会、日本国際地図学会、社団法人日本リモートセンシング学会

役員：会長／中川一郎、副会長／伊理正夫、村井俊治、事務局長：小野邦彦

3. 測量系CPD協議会の役割

- 1) 各団体が独自に行う学習プログラムを、共通の基準で認定します。
- 2) 登録した測量系技術者の学習履歴及びポイントを、共通の基準で表示・記録します。
- 3) 各構成団体に所属する測量系技術者の学習履歴及びポイントを一定の基準に基づいて、集計し、ポイントの証明書を発行します。
- 4) 上記の学習履歴及びポイントを、発注計画機関に提示し、入札の際の技術審査の参考にしてもらいます。

4. 測量系CPD協議会の現状

継続教育（CPD）を正式に発足させ、ポイントの与え方の基準を定め、学習履歴やポイントに関するデータベースを構築している構成団体は、日本測量協会以外ない状態です。したがって、日本測量協会の基準が一つの主導的な目標設定になるでしょう（雑誌『測量』2004年12月号参照）。日本写真測量学会、日本測地学会、日本地図調製業協会、日本建設情報総合センターは、日本測量協会のシステムに便乗する形で、登録業務を行っています。ただし、それぞれの学協会は、独自の基準でポイントを定めています。各構成団体が学習プログラムとそれに対するポイントを定めた時点で、測量系CPD協議会として、統一した基準作りができるものと考えます。現状は、各構成団体の継続教育プログラムの整備を待っている状態です。



日本測量協会の測量CPDの現状報告

① 測量継続教育 (CPD) 企画委員会の設置

測量の継続教育のあり方などについて、教育研修の相互調整を図る必要があるために測量継続教育 (CPD) 企画委員会を設置

② 測量技術者の技術力

技術力としての構成は、次の3本柱からなります。

- ・資格取得は、学歴・各種資格証明
- ・実務経験は、JACICのTECRIS
- ・継続学習は、日本測量協会の測量CPD

③ CPD制度のフロー

★ 学習プログラムの認定

- ・協会では全ての講習会を、学習プログラムと認定

★ 学習プログラムの提供

- ・学習プログラムは、ホームページ等へ公開
- ・受講者はその学習プログラムを見て受講

★ 測量CPD台帳登録・技術者証の発行

- ・参加を希望する技術者は、「測量CPD学習履歴台帳」に登録、測量CPD技術者証が発行される

★ 学習の実施・受講

- ・学習プログラムに従い、講習会等を開催
- ・受講者は、学習プログラムをみて適宜受講

★ 学習履歴・登録・管理

- ・受講終了後に、主催者から「修了書」が発行
- ・受講者は、学習履歴の登録を申請
- ・協会は、登録された学習履歴を登録・管理
- ・登録された学習ポイントは、5年間管理逐次加除

★ 学習ポイントの公開

- ・協会のホームページで公開
 - 一般向け：測量CPD登録番号と学習ポイント
 - 測量計画 (発注) 機関：測量専門技術者認定名簿、企業情報、学習参加者数、学習ポイント総数 (企業の技術力評価の資料として利用、ID・パスワードが必要)
 - 企業情報：各企業からアクセスし、最新の情報を提供

★ 学習履歴の証明

- ・学習参加本人の学習履歴を記載した証明

④ 測量CPDの基本原則 (抄)

[H16.10.4 測量継続教育 (CPD) 企画委員会決定]

継続教育 (CPD) に係るポイントを認定する基本原則は、下記の4原則

- 公開性：会員が等しく参加できるものを対象
- 客観性：ポイントは、妥当かつ公正な点数
- 検認性：参加を証明する書類を検認できる
- 帰属性：共催等複数の団体によって実施されたプログラムの二重登録の禁止

⑤ 協会の学習プログラム

本部講習会等	40
サーベイアカデミー	10
支部講習会等	45

⑥ 参加者の状況

6月20日現在	2,233名
---------	--------

⑦ 測量CPDへの参加団体 (5月末現在)

写測学会 プログラム数	8本
測地学会 プログラム数	7本
JACIC プログラム数	4本
地調協 プログラム数	1本

⑧ 学習ポイントの公開

- ・昨年から始めた「測量専門技術認定者と会社情報」の利用

利用申し込み数	30機関
アクセス数	2,654件 (月平均295件)

- ・今年度からのSUCCESS「測量技術者継続教育証明制度」の利用申し込み

6/20現在	65機関
--------	------

⑨ 測量系CPD協議会メンバー

昨年8月に、測量系CPD協議会を設立、13学・協会で構成 (5学会、8協会)